

八潮市

Yashio

八潮市は、埼玉県東南部、都心から北東15キロメートルに位置し、東は三郷市、南は足立区、葛飾区、西と北は草加市に接しています。

昭和31年に3村が合併し、八潮村となり、昭和39年に町制施行、昭和47年には市制を施行し、令和4年1月15日に市制施行50周年を迎えました。

市内には、中川や綾瀬川、葛西用水をはじめとする多くの河川・用水が流れる、水と緑が豊かで自然が残る街並みとなっています。

古くは、江戸の穀倉地帯として栄えており、市内には「大瀬の獅子舞」、「二丁目の獅子舞」や「木曾根の弓ぶち」など水や農耕にまつわる伝統文化が多く伝わっています。

また、金属製品をはじめとする様々な製造業が盛んであり、県内でも有数の工業都市でもあります。

平成17年8月には、つくばエクスプレスが開通し、八潮駅周辺をはじめとする土地区画整理事業により都市基盤整備が進められ、商業施設や住宅地など良好な街並みの形成が進んでいます。また、平成27年7月に、八潮駅南口に様々な余暇活動の拠点となるオープンガーデン（みんなの庭）をコンセプトとした、本市の新たな顔となる「やしお駅前公園」が全面開園しました。

毎年3月には中川やしおフラワーパークで「川」の駅 中川やしお花桃まつり」、7月には、やしお駅前公園で「夏祭り夜市」、10月には、市役所周辺で「やしお市民まつり」が開催され、市内外からたくさんの方が訪れ、大変な賑わいをみせています。

面積：18.02km²

人口：93,726人（令和8年1月1日現在）

市の木：いちよう

市の花：くちなし 花桃

特産品：小松菜、枝豆、白玉粉、藍染め

観光・イベント：川の駅 中川やしお花桃まつり（3月）、夏祭り夜市（8月）、やしお市民まつり（10月）



八潮市マスコット
キャラクター
ハッピーこまちゃん®



①葛西用水

市内の中心地を南北に流れ、草加市との行政区界から足立区との行政区界まで延長4.0km。上流区間では、自然や水生植物に配慮した親水護岸整備により、市民が身近に自然に親しめる空間が創出されています。

●伊草天満宮バス停より徒歩2分

東京葛西用水 周辺スポット



②八潮市資料館

八潮市の歴史的背景である「水と生活」をテーマにした常設展示を行っています。隣接している明治9年建築の旧藤波家住宅も見学可。藤波家は、埼玉郡八條領後谷村の開発名主で、江戸時代を通じて後谷村の名主を勤めました。

●南後谷バス停より徒歩3分



③大曽根小北さくら公園

令和5年3月に開園した、芝生広場や幼児広場など、幅広い世代の方々に利用してもらえる公園です。

●八潮駅から徒歩16分



④和井田家住宅

国指定の建造物で、江戸時代、八条村の名主を世襲してきた江戸中期の屋敷です。母屋・長屋門・書院・庭園や水塚があります。

●和井田家住宅前バス停より徒歩1分



⑤太田家住宅・蔵

もともとは八条の渡し近くで河岸問屋や旅籠を営んでいました。その建物をこの地に移築し、往時の面影を残しています。

●幸ノ宮橋バス停より徒歩4分



⑦オビシヤ

オビシヤは八潮では「弓ぶち」とよばれ、矢の当たり具合でその年の天気や農作物の出来を占います。

●下二丁目バス停から徒歩3分



⑥恩田家ふるさとの森

恩田家の屋敷林を憩いの場として公園化し、市民に開放した場所。昔の屋敷林の大きさや広さがよく分かります。また、昆虫や小鳥たちも訪れるので自然が残る場所でもあります。

●ふるさとの森バス停より徒歩0分



⑧中川やしおフラワーパーク

川沿いの公園で、四季折々の花が咲き、各地から大勢の人々が訪れます。春の花桃まつりは有名です。

●中川やしおフラワーパーク入口バス停より徒歩5分



⑩やしお駅前公園

平坦な八潮の地形に丘をデザインし、八潮市の顔を特徴付ける空間を創出するとともに、市民のさまざまな余暇活動の拠点となるための施設を配置するオープンガーデン（みんなの庭）としています。

●八潮駅より徒歩0分



⑨中川スポーツパーク

多目的広場A（主にサッカー）、B（主にソフトボール）があり、週末は大会などで賑わう。

●中川フラワーパーク入口バス停より徒歩7分



⑪大瀬の獅子舞

県指定無形民俗文化財「大瀬の獅子舞」が大瀬氷川神社境内で行われています。

●潮止橋バス停より徒歩0分